

## 2022 全日本空道ジュニア選手権大会における 新型コロナウイルス感染防止対策について

### 記

4月3日の「2022 全日本空道ジュニア選手権大会」は、開催地からの中止要請がない限り、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、予定通りに開催します。開催施設の愛知県武道館とは、開催する方向で連絡をとりあっています。

なお、愛知県はオミクロン株の流行（いわゆる第6波）により依然として医療ひっ迫状況が解消されていないとして「愛知県まん延防止等重点措置」を3月21日まで継続することを決定しました。

参照：<http://aichi-budo.sakura.ne.jp/corona/03.pdf>

会場（愛知県武道館）は「新型コロナウイルス感染防止対策」を実行しての施設使用を許可しており、施設の対策として「愛知県武道館 新型コロナウイルス感染防止対策一覧」をHPに掲示しています。

参照：<http://aichi-budo.sakura.ne.jp/info-c2.pdf>

施設利用者への要望としてHPに掲示された「利用者の皆様へ」も参考に連盟安全対策委員会からの提言および開催地である愛知県および会場の愛知県武道館の発信を踏まえて、以下のとおりとします。

参照：<http://aichi-budo.sakura.ne.jp/info-c.pdf>

【感染防止対策について】 従来の対策に新しく追加された箇所を赤色、2022\_05\_01 で改定箇所は青色で表示

#### 1. 選手出場団体・組織の責任者（支部長等）へのお願い

開催地の自治体・医療機関・従事者に負担を掛けないためにも、現在の連盟ガイドライン（コロナ禍におけるイベント開催時の感染防止対策ガイドライン）の厳守を前提としたうえで、練習中・移動中の感染対策を徹底するように注意すること（現行通り）。

また今後の感染状況によって、開催地の自治体の判断により急遽（最悪開催当日）開催中止となる場合があることを選手に周知すること。

その上で、選手に対して以下の指導をお願いします。

- ① 大会までの期間、毎朝夕に検温し、健康観察を行うことを指導する。
- ② 大会当日まで選手・同行者・家族に発熱・咳・倦怠感など「感染したと疑わしい症状」があった場合、感染拡大防止のため出場を辞退するようお願いする。
- ③ 辞退する場合、すみやかに支部長・責任者に連絡するよう連絡網を整備し、辞退者が出た場合はその時点で主催者に報告する。
- ④ 安全上原則セコンド1名/選手とする。チームで複数の選手が出場し、AB両コートで試合が同時進行する場合も想定されるので、極力2名/チーム(支部・道場単位)とする。
- ⑤ 大会への出場以外の現地での活動（観光、支部/チーム別の反省会・懇親会など）は禁止する。飲食店において複数名で会食する場合は、飲酒を控える。また1グループ4名以内とする。
- ⑥ 宿から大会会場への移動以外は、極力外出を控える。
- ⑦ 大会前に道場内で感染者が発生した場合は、大会前3日以内に実施したPCR検査または抗原検査による陰性証明を提出する。
- ⑧ 事前に大会事務局から選手が所属する支部長あてに抗原検査キットを送付する。同キットを使用して4月1日に行う選手自身による検査、もしくは大会当日、体温37.5度以上の選手を対象に行う大会事務局が用意した抗原検査キットによる抗原検査で陽性判定の場合は大会出場を禁止する。

## 2. 選手・セコンド・付き添い者へのお願い

※以下文中のマスクは全て不織布マスクを指す。愛知県武道館からは不織布マスクの使用を指示されている。

「地域・グループ・家族」など日常を共にする最小単位で行動し、他のグループとの交流を極力を避けて感染拡大防止に留意した行動をとる。

- ① 移動中も飛沫感染防止（感染させない、感染しない）のためマスクを着用する。また感染防止のためこまめな手洗い・アルコール消毒を心掛ける。
- ② 移動中・宿泊中の食事（会食）などにおいては、他のグループとの交流を控える。
- ③ マスクを外した状態での会話は行わない。
- ④ マスクを外す飲食の場面では特に注意し、三密にならないよう十分な距離を確保する。
- ⑤ 飲食店において複数名で会食する場合は、飲酒は控える。また1グループ4名以内とする。
- ⑥ 特に「緊急事態宣言」「まん延防止措置」などの対象地域に居住または就労・就学している者は、現地滞在時間を極力短縮する。
- ⑦ 会場での飲食は選手を除き禁止とする。選手が栄養補給のために飲食する場合は最小単位（4人以内を目安）で行い、飲食以外はマスクを着用する。また必要な飲料・栄養補給については各自事前に購入・準備する。
- ⑧ 会場に持ち込んだモノ（タオル、絆創膏、湿布薬、マスクなど）は持ち帰って処分する。
- ⑨ セコンドは1名とする。
- ⑩ 観客、セコンド、応援は極力チーム（支部・道場単位・4人程度）の最少単位に分かれて行動する。拍手などによる応援を行い、声援や指示などで大声を出さない。
- ⑪ 入館時に連盟が定めた感染防止策チェックリストを提出するとともに、要望事項・注意事項を遵守する。
- ⑫ 大会前に道場内で感染者が発生した場合は、大会前3日以内に実施したPCR検査または抗原検査による陰性証明を提出する。
- ⑬ 大会時の感染の可能性を最小化するため、選手とセコンド・指導者がミット練習やスパーリングなどの練習を行う際は、マスクを着用するとともに、短時間で切り上げる。また組技や寝技の練習は禁止する。
- ⑭ 4月1日正午から20時までの間で、出場選手は自身で抗原検査を実施する。陽性判定の場合は同日20時までには必ず大会事務局に報告を行う。当該者が自宅以外にいる場合、帰宅に際しては可能な限り公共交通機関の使用は差し控える。やむを得ない場合は、マスクを着用したうえで他乗客との間隔を1m以上あけることを徹底する。かかりつけ医がある場合には速やかに相談し、その後の検査の指示を受ける。ない場合には各自自治体新型コロナ担当窓口で電話相談する。
- ⑮ 大会当日の朝、出場選手は感染防止対策受付で、必要事項を漏れなく記入した感染対策防止対策チェックシートを提出し検温を行う。体温が37.5度以上の選手は大会事務局が用意した抗原検査キットによる抗原検査を受けなければならない。陽性判定の場合は大会出場を禁止する。帰宅に際しては、上記⑭のとおりとする。
- ⑯ 4月1日、もしくは大会当日の抗原検査で陽性判定者がいる場合、必要な感染予防策（マスク着用・こまめな手指消毒など）をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度以内）で15分以上接触があった者は、濃厚接触者に該当する。該当者はすみやかに帰宅し、濃厚接触者として不要不急の外出を避ける。

参考：厚生労働省 HP 新型コロナウイルスに関するQ&A

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html#Q3-3](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3)

濃厚接触者に該当する場合、所定の期間は、不要不急の外出を控えるなど保健所の指示に従うこと。詳しくは保健所から伝えられる内容を確認すること。

感染予防について「3. 新型コロナウイルス感染症の予防法」 濃厚接触者について「問3 濃厚接触者とはどのような人でしょうか。濃厚接触者となった場合は、どんなことに注意すればよいでしょう」を参照。

以上

一般社団法人 全日本空道連盟

理事長 高橋 英明